

わり声で124÷2をといてみよう!

わり声を使ってそろばんの玉をどのように動かすのか、問題を解きながら見ていきましょう。

かけ算九九を使ってする

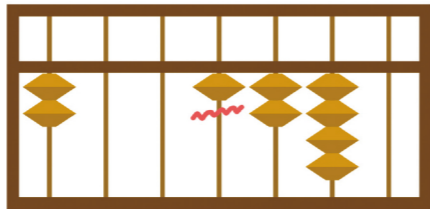
今の割算

$$2 \overline{)124}$$

12を見て、2で割るときの商を考える。

「わり声」を使ってそろばんでやる

むかしの割り算



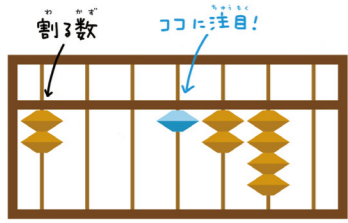
2 1 2 4

- 上のように玉を置く。
2で割るので2の段のわり声を使う。
- 上124の「1」だけに注目する。
- 上1のわり声「二一天作の五」を使って玉を動かす。

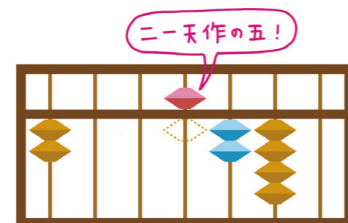
二
二一天作五
にいちてんさくのご
二進一十
にしんがいんじゅう



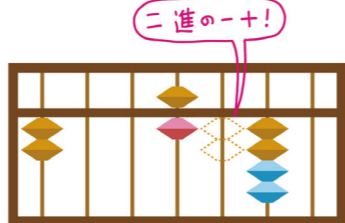
さあ!
そろばんで
やってみよう!



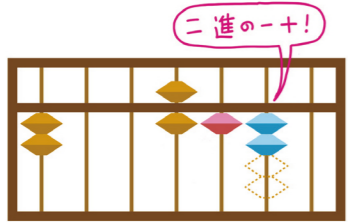
- 1 2と124を図のように置く。
まず「1」に注目。



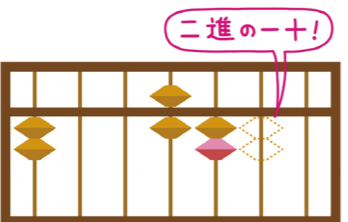
- 2 1をはらって
5の玉を下ろす。
次は「2」に注目。



- 3 2をはらって、
1つ上のケタに1を入れる。
次は右の4のうち「2」に注目。



- 4 2をはらって、1つ上の
ケタに1を入れる。
次は残った「2」に注目。

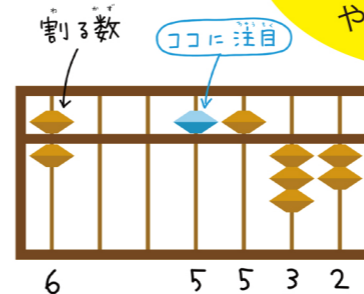


- 5 2をはらって、
1つ上のケタに1を入れる。

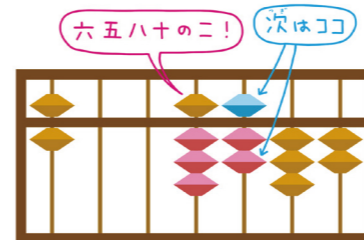
こたえは
62!

今度は5532÷6にチャレンジ!

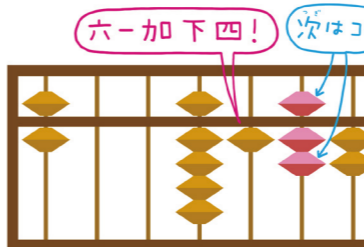
今度は6の段の
わり声を使うよ。
表を見ながら
やってみよう。



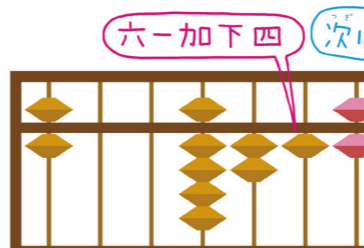
- 1 6と5532を図のように置く。
まず「5」に注目。



- 2 5を8にして、1つ下のケタに2を加える
(5 + 2 = 7になる)。
次は7のうちの「6」に注目。

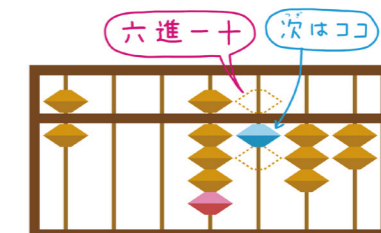


- 4 1はそのままにして、1つ下のケタに
4を加える (3 + 4 = 7となる)。
次は7のうち「6」に注目

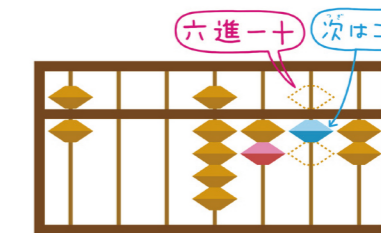


- 6 1はそのままにして、1つ下のケタに
4を加える (2 + 4 = 6となる)。
次はその「6」に注目。

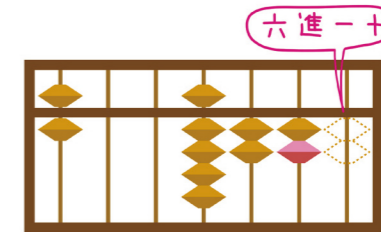
六一加下四 ろくいちかかし	六四六十四 ろくしろうくじゅうのし
六二三十二 ろくにさんじゅうのに	六五八十二 ろくごはちじゅうのに
六三天作五 ろくさんてんさくのご	六進一十 ろくしんがいんじゅう



- 3 7から6のみはらい、1つ上のケタに
1を加える。
次は残りの「1」に注目。



- 5 7から6をはらい、
1つ進んだケタに1を加える。
次は残りの「1」に注目。



- 7 6をはらって、
1つ上のケタに1を加える。

こたえは
922